

特 集

<地域活性化研究所シンポジウム2014>
「新・地域活性化宣言」
～これまでの20年、これからの10年～



2014年度のシンポジウムは、新潟経営大学の大学祭と同日開催で10月25日・26日両日の日程で開催された。特に2014年は新潟経営大学の開学20周年という節目の年であることを意識し、主テーマを「新・地域活性化宣言」とし、副テーマに「これまでの20年、これからの10年」を掲げた。加えて、新潟日報社をはじめ県央5市町村の自治体、商工関係団体ならびに青年会議所の後援を得て、地域の一体感の醸成を企図した。

10月25日は、新潟経営大学大講義室に於いて基調講演とパネル・ディスカッションを行った。第Ⅰ部の基調講演には、立正大学客員教授であり石川県・羽咋市職員である高野誠鮮氏をお招きし、「スーパー公務員」として名を馳せる氏の地域活性化活動の実践についてお話いただいた。続く第Ⅱ部では、コーディネータに新潟日報社三条総局長の蛭子克己氏、パネリストに高野氏（前掲）、田上町議会議員の今井幸代氏、加茂青年会議所小京都まちづくり委員会委員長の山田宗氏をお招きし、「担い手目線から描く まちづくりの未来図」と題してパネル・ディスカッションを行った。（講演およびディスカッションの内容は、3ページ以降に要録）

翌10月26日には、本研究所シンポジウムの新たな試みとして、「学生・教員活動成果発表」を新潟経営大学エントランス・ホールにおいて、ポスター・セッションとオーラルセッションを一般公開で開催し、活発な意見交換が展開された。（各セッションの内容は、巻末の「プロジェクト・レポート」を参照）

1. 概 要

日 時：平成26年10月25日(土)、26日(日)

場 所：新潟経営大学

主 催：地域活性化研究所

後 援：新潟日報社、新潟県三条地域振興局、加茂市、田上町、三条市、燕市、弥彦村、加茂商工会議所、
三条商工会議所、燕商工会議所、田上町商工会、弥彦村商工会、三条工業会、加茂青年会議所、
燕三条青年会議所

2. 目的

(1)地域学府の研究機関としての使命

本学および地域活性化研究所の活動を一般に広く紹介することで、地域学府のシンクタンク機能を周知する。
あわせて、学部新設などを含めた本学の将来ビジョンをディスクローズする。

(2)保有シーズの地域還元

研究所研究員（教員）および学生の活動成果を一般に広く発表し、地域に根ざした研究機関が成し得る
産学官連携機会を模索する。

(3)先達に学ぶ地域資源の再発見

地域活性化の先進成功事例を学び、地域が有する産業・観光資源の活用にあ資するヒントを見出す。

3. プログラム

日・時間		内 容
25日 (土)	13:00～13:10	開会挨拶（所長）
	13:10～14:00	基調講演 過疎の村を救った奇跡の軌跡 スーパー公務員に学ぶアイデアと実行力 「限界集落からの脱却」～可能性の無視は最大の悪策～ 講師：高野誠鮮 氏（立正大学客員教授）
	14:10～15:00	パネル・ディスカッション 論題：担い手目線で描く「まちづくりの未来図」 パネリスト： 高野誠鮮氏（立正大学客員教授、石川県羽咋市職員） 今井幸代氏（田上町町議会議員） 山田 宗氏（加茂青年会議所まちづくり実行委員会委員長） コーディネータ： 蛭子克己氏（新潟日報論説委員）
	15:00～16:00	懇親会、名刺交換会
26日 (日)	10:30～12:00	ポスター・セッション 学生および教員による展示発表
	13:00～14:30	オーラル・セッション 学生および教員による口頭発表
	14:30～14:40	閉会挨拶（副所長）